



光明の学び

12/1は、2学期の学習の結実を御覧いただく授業参観日です。お手元に参観ガイドを御用意いただき、ぜひ御来校ください。(当日は学校公開も同時開催します)

第2回光明祭での作品展示表彰

～ 全学園生の励みとするために～

本校にはS・B両部門の通学生とともに、在宅訪問学級や病院で入院治療中のためにそよ風分教室、あるいは病院訪問学級に学園生が在籍しています。(光明祭の本校会場に来場することが難しい学園生も少なくありません。)その全ての学園生が本校の大切な一員です。そこで今回の光明祭では舞台発表等への参加だけでなく、作品を通して学園生誰もが積極的に光明祭に参加ができるようにと、新たに光明祭展示表彰“KOMEI Art Gate Award”=KAGAを設けました。光明祭期間中に展示された作品をすべてエントリー対象として、その中から美術科教員等と外部委員が厳正審査し、きらりと光る作品や力強い作品に対し、入選作品として「学園賞」を贈呈します。さらにその中からひとときわ輝く5作品に特別賞、1作品に大賞を贈呈します。(贈呈式は12/25)

明日から受賞作品展「光美展」を開催するとともに、受賞作品集を全学園生に配布し、作品完成に至る努力を称えます。受賞作品を鑑賞することで「私もまた作ってみよう!」「次の作品アイデアが閃きました!」と全学園生のこれからの大きな励みとなることを期待しています。

◆同封の作品集をご覧ください!◆

S部門：11/24 ライオンズクラブ国際協会主催の

交流イベント「みんなダイヤモンド」に本校学園生出場!

本校への読書活動を応援して頂いているライオンズクラブ国際協会主催のイベント「みんなダイヤモンド」が港区スポーツセンターで開催されました。本校からもS部門学園生有志がポッチャ交流試合に出場しました。



本校のできたでの横断幕も晴れやかに掲げられ、校外で初使用となりました。他の肢体校生徒やPTA会員も多

数参加され、楽しい一日となりました。

B部門/最優秀作品賞を目指してエントリー

昨年度、都立特別支援学校総合文化祭映像部門に初エントリーで最優秀作品賞を射止めたB部門では、2年連続の栄誉を目指して合計4作品を作り上げて応募しました。(その映像の一部は光明祭で上映しました。)1月には結果発表です。御期待ください。

本校教職員が「ねむの木賞」受賞!

～ 全教職員の励みに～

日本肢体不自由児協会主催の第52回ねむの木賞の授賞式が11月6日にグランドプリンスホテル高輪の貴賓室で開催され、同協会総裁の常陸宮殿下御臨席の下で、本校の大山衣絵主任養護教諭が同賞の贈呈を受けました。式後、ねむの木賞受賞者は皇居に参内し、皇后陛下に御接見を賜りました。医療的ケアの充実など健康教育を進める本校教職員への励ましのお言葉を頂戴したとのことです。(宮内庁HPに御接見の写真が掲載)

<ねむの木賞> 経緯/「ねむの木の子守歌」歌詞著作権を肢体不自由児事業振興のために同協会に下賜された皇后陛下の御意志を永く記念するため、同協会が「ねむの木賞」を制定。受賞対象・趣旨/施設・学校等において、肢体不自由・重症心身障害のある児童・生徒等の日常生活の指導・看護・養護・介護に従事している女性職員で、永年にわたり勤続し、かつ優秀な成績を収めている者で、引き続き後進の指導を行うことのできる者に対して、本賞を授与し感謝の意を表するとともにその労をねぎらうもの。

<ねむの木の歌> 皇后陛下が高校生時代に作られた詩を、その後、御友人が雑誌に発表しました。この詩を読んで感動した作曲家の山本正美氏(夫は山本直純氏)が曲を作り、皇太子殿下の御誕生に合わせて献上しました。昭和41年に発表されたこの曲を各社が一斉にレコード化しました。(吉永小百合さん他が吹き込み)

<ねむの木の庭> 皇后陛下が高校生の時期を過ごした御自宅は今、小公園「ねむの木の庭」になっています。詩に詠み込んだ頃は若木だったねむの木は大木に。プリンス・ミチコ(バラの品種)も咲いています。(品川区東五反田5-19-5、五反田駅から徒歩8分)

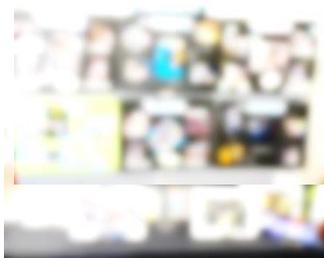
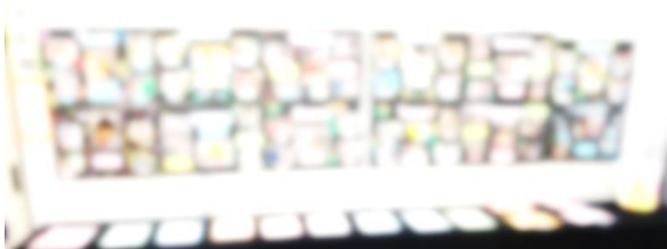
校長 田村康二郎

S部門 訪問学級 「みんなの宝物、光明祭★」

訪問生にとっても光明祭は特別なものです。小学部では、グループの発表に合わせて、自宅で練習を積み重ねました。いつもの担任の見本だけでなく、グループの先生の踊りなどの動画を見てやる気がアップしました。6年生の大矢くんは、納得いくまで練習ができなかったのが当日はドキドキが止まらず！発表が終わったとたん、ホッとしていました。中学部・高等部も授業で「光明祭」の言葉を出すだけで目がキラキラ！発表の練習、美術の作品、衣装や商品作りに力が入りました。いきなり本番！の生徒もいましたが、さ

すが中高生、堂々としていて、練習の成果を存分に発揮していました。また、他の学年の発表が気になり、ずっと体育館で見続けた生徒もいました。

友達と一つの目標に向けて取り組み、成し遂げた表情には、まさしく閉会式で最後に掲げられた「光明祭、やりきった！」の気持ちがあふれていました。当日、参加した子もしなかった子も、学校の友達とつながるような学習にしたいと教員一同願って取り組んできました。みんなの中に宝物として残るといいなと思います。(S部門 訪問学級教諭 阪田朋子・平直子)



B部門 中学部・高等部合同 「光明祭の様子」

中学部・高等部の全員が一丸となって映像制作や合唱に力を入れました。

映像では「アイディンティティ」をテーマにして、B部門生のそれぞれが得意にしていることを表現しました。撮影現場では高等部3年生を中心に生徒たちが輪になって話し合い、どのような演出が良いか、どこを工夫したら良いかなど、お互いの意見を交わしました。体育館全体を使って撮影するため、教室から机と椅子をたくさん運んだり、大きな道具を設置したりするなど、演出に妥協せず最後まで粘り強く撮影を続けました。その結果、すばらしい映像作品ができました。

合唱では中学部を中心に有志を募るところから始まりました。中学部の2年生女子2名からスタートし、中学部1年生、高等部生、教員が徐々に加わり、混声3部合唱という形にまで発展しました。昼休みや放課後などにも練習を重ね、伴奏や発声がぐんぐん上達していきました。緊張感が高まる本番でも、これまでの成果を発揮して大勢の観客が見守る中、堂々とした発表ができました。

また、今年度のB部門は教室で独自のイベントを運営するクラスもあり、当日を迎えるまで大忙しでした。全体的に盛りだくさんだった分、みんなで乗り越え、成長につながる光明祭となりました。



(B部門 高等部教諭 松田 豊貴)

S部門 高等部 「光明祭の様子」

(1 学年) 「世界のお祭り～新しいことに挑戦しよう～世界の音楽クイズ・アンブレラスカイプロジェクト」

光明祭といえばお祭り！世界の様々なお祭りをテーマに、音楽クイズチームと傘を使ったゲームチームに分かれて、それぞれ新しいことに挑戦しました。

司会者として相手に分かりやすく言う、タイミングを考えてスイッチを押すなど、練習の回数を重ねるごとに上達していきました。そして緊張や戸惑いを乗り越え、本番ではメンバーが一体となり、それぞれが自分の力を発揮しました。

音楽クイズチームの皆は、これまで着たことのない衣装や触れたことのない楽器に挑戦し、大勢のお客さんの前でも堂々と司会、演奏、スイッチを押すことができたと思います。

アンブレラスカイチームでは、背景を作成したり、練習したりする中で、生徒同士の新しい絆が生まれました。最後のダンスで訪問生も一緒に一体感を感じることができました。御声援、御観覧ありがとうございました。



(S部門高等部教諭 板橋あん里)

(2 学年) 販売「50円均一ショップ Cony」



「自分たちで作った商品を売る」をテーマに、販売を行いました。商品は「アクセサリー」と「エコバッグ」、「コースター」の3種類で、生徒たちはそれぞれの班に分かれて、約2か月間を通して作り上げました。

本番では、5つの班(受付・アクセサリー・エコバッグ・コースター・会計)に分かれ、一人一人が自分の得意なことを最大限に発揮して、仕事を担当しました。

例えば、スイッチを押して音声や動画を再生し、販売のルールや商品の説明を行い、電卓を使ってお金の計算をし、ひもを引っ張ると商品がお客さんの目の前に出てくる道具を使い、接客を行いました。

スイッチを押して再生された音声、生徒のお父さんやお母さん、兄弟の声と分かれると、会場からは驚きの声が上がりました！

光明祭初日の開催にも関わらず、たくさんの方々のご来場のおかげで、商品も無事に完売することができました。ありがとうございました。

(S部門高等部教諭 平井大介)

(3 学年) 劇「^{えすこうさーど}ミッションインポッシブルS高Ⅲ」

S部門高等部3年生は、「劇・書道パフォーマンス」を行いました。とある学園でクラスごとに文化祭の練習をしていると、何やら怪しい贈り物が贈られてきました。学園の危機に、全員で立ち向い、団結してミッションを達成していくと言う物語でした。

劇の中では、普段の力を一人一人が発揮していきました。ナレーションを間違えずに言う、小道具を使って演技する、タイミングを合わせ効果音を入れる、身振りや表情で劇を表現する、歩行する、といったそれ



ぞれ異なる課題がありました。練習を重ねるにつれ成長し、舞台での演技に自信をつけていきました。

た。

もう一つの大きな見どころ、「書道」の取組は、高等部の3年間、毎年取り組んできた活動でした。しかし、「書道パフォーマンス」は机の上の書道とは異なります。舞台の上でスポットを浴び、大きな筆を使い、立てた大画面に書くことができるのか、不安もありました。しかし、実際に大画面に挑んでみると、思いのほか、どの生徒もその挑戦を楽しんでいました。初めは不格好だった文字もだんだんと上手になりました。

「光明学園」の後に続く言葉「最高」は、学年の生徒の案で決まりました。高校生活最後の文化祭で、「私たちの大好きな学校」という気持ちを精一杯表現できたと思います。

舞台上で書いている時、たくさんの観客の皆さまから声援を頂きました。その声援を感じ、その声援を力にして、一人一人が一生命に書き切る姿を見ていただくことができました。たくさんの応援をありがとうございました。(S部門高等部教諭 奥田文香)

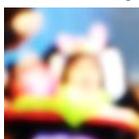
Aグループ「はらぺこ あおむし」

みんなが大好きなお話を支えに、初めての光明祭、がんばりました！
体育館に着くと、たくさんのお客さん。



緊張する子、張り切る子、周りに興味津々の子。

それぞれ「いつもと違う」ことを感じながら活動することができました。



Bグループ「ジャン!おぼけだとおもったら…」

国語・算数のお話し遊びをもとに、歩行やボール転がし、スイッチ遊びや合奏など、授業や生活の中で頑張っていることを発表しました。当日お休みだった友達の分もみんなで力を合わせて頑張りました。



Cグループ「ゴー ファイ ウィン!!」

校外学習で見たチアリーダーからもらった



「勇気・元気・やる気」を、体育のボール転がし、英語や音楽の歌とダンスなど、授業で行ってきたことにのせて発表しました。一生懸命頑張っている表情、緊張した表情などいろいろありましたが、日ご



の成果を十分に発表することができました。良かったのは全員で発表できたことでした！

Dグループ「ケロイングラフィ」

ケロケロ♪かわいいカエルになった子どもたちが、糸電話の楽器ストリンググラフィを奏でました。糸をこすって、キュッキュッと不思議な音で『カエルの合唱』を演奏しました。自分の場所への移動や、指揮、歌など、自分の役割を頑張りました。1年生は初めての舞台上で緊張しながら2、3年生は去年よりも自信をもって楽しく発表できました。



Eグループ「サウンドオブミュージック」

トラップ一家の子ども達になりきりました！音楽を楽しみ、ストーリーを楽しみ、GO-STOPを楽しみ、自分らしく輝いた演技でした！



FGグループ「サンタクロースの弟子たち」

お休みのお子さんも含め、みんなでサンタさんを元気づけました。練習を重ねてきた中でも、ご家族を目の前にした当日の発表が、どのお子さんも一番意欲的でした。真剣な表情、細かな手指の動き、全身に漲る力など、子供達の素晴らしい演技をご披露する事ができました。



サンタの弟子の衣装も皆かわいく似合っていました。たくさんのお応援ありがとうございました！

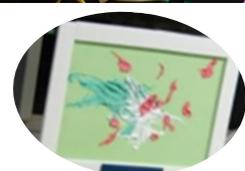
Hグループ「にんにんにんぽうHぐみ！」

グループ全員が舞台に立つことができました！オノマトペや長い言葉、ボールに歩行に立ち上がり！緊張もしたけれど、皆が得意になった「忍法」を、舞台上で精一杯披露しました。祝☆忍たま全員合格



展示

今年もいろいろな素材、感触、道具で手、目、頭、全身を使って作品づくりしました。そんな一生懸命取り組んだ学習の様子も写真でたくさん御覧いただきました。



(1 学年) 劇と合奏「オリジナルドン・キホーテ」

訪問生 2 名が加わっての、中学部で初めての光明祭！スペインが舞台の「ドン・キホーテ」をオリジナルにアレンジし、9月から練習を重ね、セリフチームとフラメンコチームに分かれ、それぞれの個性が輝くよう工夫して練習してきました。最後に全員で合奏♪。「Man of La Mancha」ブロードウェイのミュージカルで演奏された曲を、光明バージョンにアレンジして合奏しました。楽器は、一人一人が気に入って楽しんで演奏できる楽器を選び、本番に向けて練習してきました。最後に、学年のみんなで作った「GAKUEN SAMBA」を全員で歌いました。生徒たちがそれぞれ積み重ねてきたことを発揮でき、校内発表も本番も本当に素晴らしい、見事な発表となりました。沢山の方に参観して頂き、生徒達へのご声援、本当にありがとうございました。

(S部門中学部主任教諭 柳田和美)



(2 学年) 「キラキラわくわく KOMEI 縁日」

本番まで練習を重ね、みんなで縁日屋台4店舗の切り盛りを頑張りました！まずは、パチンコみくじ！ラウンドベルを鳴らしての結果発表や、おみくじを渡すことを頑張りました。みなさんのおみくじにはどのようなことが書かれていましたか？ストラックアウトコーナーでは、2枚打ち抜きのUSA ダンスで大盛り上がりでした。1時間よく踊り通しました！ハンドメイド SHOP は学年 HR で生徒が作った染色トートバックとくるみボタン、デコパーシュ巾着を販売しました。あっという間に完売御礼でした。心を込めて作った製品を買ってもらえて嬉しかったと思います。インスタ・お土産コーナーも大盛況でした。たくさんのお客さんを前にシャッターを押すのをよく頑張りました。皆さんのスマイルがはじけていました！

みんなで協力し、学年集団の結束がより一層強まった発表となりました。たくさんのご来場ありがとうございました。

ございました。心より感謝申し上げます！

来年はいよいよ中学部最後の光明祭発表となります。みんなの個性を活かした発表ができればと思います。ご期待くださいませ！

(S部門中学部教諭 山崎佳菜子)



(3 学年) 劇「ワンダーランド イン 光明」

平成最後の光明祭…3年生にとっては、中学部最後の光明祭でした。本番で、いつも以上に力を発揮できた生徒もいれば、緊張もあり、思うように上手くできなかったと感じた生徒もいました。

大勢の人が見ている前で、自分の力を出すという経験は大きな意味をもちました。ただ、それと同じくらい、自分の役を果たすために練習から頑張って活動してきたこと、「こうしたらいいのかな」と自分なりに考えたこと、劇練習でいろいろな友達を意識し、関わってきたこと—そうした本番だけでは見ることができない姿もまた、3年生18名にとって、かけがえないものになっているのではないかと感じています。

光明祭を通して感じたこと、学んだことを糧に、中学部の卒業、さらにその先にある様々な人生の岐路を「切り拓いて」いてくれると思います。

最後になりましたが、たくさんのご声援、本当にありがとうございました。そして、「3年生」の今後の活躍も是非楽しみにしてください。

(S部門中学部教諭 山崎幸雄)

